

早いもので平成 31 年を迎えようとしています。この一年を振り返ってみますと、全国各地で自然災害が猛威を奮い、今年の漢字として『災』が選ばれてしまうような年でした。当センターでも 10 月に停電による影響がありましたが、様々な自然災害に備える必要性を改めて考え直す体験となりました。災害や感染症などリスク対策を強化しながら皆様に安心してサービスをご利用頂けるように、そして『笑顔の一日引き受けます！』を合言葉にデイを利用することで毎日の生活に笑顔が生まれるように、新しい年もがんばっていきたいと思います。



東棟 テイサービス

介護保険のデイサービスでは、認知症状の進行予防を目標に活動内容や職員の関わり方を考えサービス提供に取り組みました。10 月からは菊川市委託事業の「元気はつらつ教室」も毎週一回開催しております。また、和松会全体での取り組みとして「またきてカフェ和」を月 1 回開催し、暮らしやすい地域づくりを目指しています。



西棟 障がい者テイサービス

障害福祉サービスでは、お一人お一人の過ごし方を大切にしながら送迎や入浴などの身体的なケアを実施しています。クリスマスやお正月飾りを制作し、年末には記録写真で一年を振り返る活動も予定しています。



元気に年末年始を過ごしましょう！

年末年始はおもちを食べる機会が増えますが、喉に詰まってしまったりはいけなさと楽しめなくなっている方も多いのではないのでしょうか。

では、なぜお餅を食べる時に注意が必要なのでしょう？

●お餅は他の食品に比べて粘りがあります。高齢化などにより唾液の分泌量が減ることや、義歯ではくっついてしまい噛みにくいことなどから、本来なら良く噛んで唾液と混ぜて飲み込みやすい大きさに整えていた機能が低下してしまうためです。

お餅をおいしく頂くには、水分を摂りながらゆっくり良く噛むことや、「おはたき」のような粘りの少ない食品に代替することがおすすめです。

